



2年間で履修する教科は日本語、コミュニケーション学や、介護・生活支援などの実習の他、心と身体の仕組みや、医療ケアについても学びます。実習は香南会の施設でも行われ、実際に高齢者と触れ合い知識と技術を身につけます。修了後は介護福祉士の国家試験に臨み、今年度卒業の1期生は約半数が合格したそうです。また不合格者については次の試験に向け、1年間サポートを行うなどフォローアップ体制万全です。

学生生活

学園の建物は1階に教室や実習室、図書室などがあり、各教科の勉強をします。コロナの影響で来日できない学生はリモート授業を受けています。高台にあるため1階と二階と教室の窓からは青く光る太平洋がドーンと広がる絶景。ずっと眺めていたい感覚になります。学生たちは教壇に向かい熱心に勉強しています。2階は学生寮で、海外留学生たちはここで生活しています。

学習内容



介護職を目指す海外留学生たちの学び舎 香南学園をご紹介します！

夜須町手結の小高い山の上にあった国民宿舎「海風荘」の建物を改装し、2019年4月に開校したのが、グローバル介護福祉学科を持つ専修学校「香南学園」です。2年課程で介護福祉士の国家資格取得を目指し、2学年合わせ約45人の学生が在籍しています。学生のほとんどはベトナム、インドネシア、カンボジア、中国など海外からの留学生ですが県内出身の日本人学生もいます。校長の畠中友子先生に学園内を案内していただき、特色などを伺いましたのでご紹介します。担当/広報編集委員 久保 きみ

学園設立

母体となる社会福祉法人「香南会」は県内外で老人ホームや老人保健施設、ケアハウス、生活介護事業所などを多数運営しています。しかし、介護職の質の低下が深刻で、より質の高い介護福祉士の養成をするため、香南学園が設立されました。残念ながら介護職は人材不足が問題となっており、日本のみならず少子高齢化が進むアジア諸国でも、これは同じ問題に直面することが考えられます。そこでグローバルな視点で外国人留学生を積極的に受け入れています。

入学するためには

留学生たちの前に立ちほだかるのが言葉の壁。入学前に母国や日本国内の語学学校で日本語を習得しておくのが必須条件とのこと。学園での授業や教科書はすべて日本語で行われ、その先の国家試験も日本語で出題されるため、日本語の理解は重要。まずはJLPT(日本語能力試験)N3以上を持っていることが必要です。面接の時にはこの他、介護職に向いているのかどうかの性格、気質、考え方も考慮し選抜されるそうです。



▶熱心に座学や実習に取り組んでいます



日常生活

寮での生活は、互いに違う国の友人たちと色々な話をしたり、一緒に食事を作ったり、買い物やスポーツをして楽しんでいるとのこと。時には近隣の方からの差し入れも届き、ジビエのバーベキューをすることも。大量のお肉があるという間に無くなってしまいがち。校長先生は「えっ!?あのお肉もう無いの?」と目を丸くしたこともあるそうです。「コロナの影響でなかなか地元の方たちと交流しづらなのが残念」とも話されました。

これから

言葉の壁に、生活習慣の違い、規則やルールなど育ってきた環境とは全く違う異国で、志高く勉学に励む学生たち。今後は福祉のスペシャリストとして地域で活躍する人、また日本の高度な介護福祉の知識と技術を、それぞれの国に持ち帰り自国で活躍する人などさまざまだと思います。この香南の青い空と海は皆さんの国ともつながっているように、国境を越えた立派な職業人になって欲しいと思います。市民のみなさんも地域で彼らに出会ったら気軽に声を掛けてみては、日本語上手ですよ！



▶人の心を癒す笑顔は万国共通です

タコヤキが大好き！
すごくおいしい！！
いろんな国の人たちと
おしゃべりするのが
楽しいです！

日本語は難しいけど
土佐弁はもっと大変！
日本の冬は寒くてビックリ。
風邪をひいて
熱がでてしまいました。

私たちはベトナムから来ました！

ドティ キエウ イエンさん(21)

ウォティ ホン ガーさん(22)

